

付属資料・目次

特記仕様書（抜粋）	特 1
案内図・配置図 1	1
案内図・配置図 2	2
案内図・配置図 3	3
案内図・配置図 4	4
（本部構内）配置図	5
（北部構内）配置図	6
（病院東構内）配置図	7
（医学部構内）配置図	8
（本部構内）実験排水計画平面図	9
（北部構内）実験排水計画平面図	1 0
（病院東構内）実験排水計画平面図	1 1
（医学部構内）実験排水計画平面図	1 2
新設柵構造図・更生工参考図	1 3

土木工事特記仕様書	
工 事 概 要	
工 事 名	京都大学（中央他）キャンパス環境整備（屋外排水管等）工事
工 事 場 所	京都市左京区吉田本町（京都大学本部構内） 京都市左京区北白川追分町（京都大学北部構内） 京都市左京区聖護院川原町 5 4 （京都大学病院東構内） 京都市左京区吉田橘町（京都大学医学部構内）
完 成 期 限	令和 4 年 3 月 3 1 日（木曜日）
工 事 内 容	屋外実験排水管改修（管更生）、実験排水柵改修（人孔更生） など
一般特記事項	
総 則	1. この工事の受注者は、国立大学法人京都大学契約事務取扱要領（平成 1 6 年 4 月 1 日財務担当理事裁定制定）別記第 1 の工事請負契約基準、現場説明書、特記仕様書 枚、図面 枚、文部科学省土木工事標準仕様書（平成29年版）、工事数量表、文部科学省土木工事施工管理要領（平成29年版）及び及び工事写真撮影要領に基づき工事を施工する。
(1.3.5) 施 工 条 件	<p>この工事現場では、次の施工条件による。</p> <ul style="list-style-type: none">・本工事場所は、人・車両・自転車などの通行量が多いエリアであることを十分認識し、安全対策に配慮すること。・本部構内、病院東構内及び医学部構内の工事においては原則土曜日、日曜日及び祝日など京都大学が休日とする日で行うこと。ただし、監督職員の承諾を得た日においては平日であっても工事を行えるものとする。・本工事場所周囲には、研究棟が立地することを十分認識し、周辺への影響に配慮すると共に、安全にも十分配慮すること。・工事場所や工事用地、及び周辺において適切な養生・清掃を行うこと。また、工事車両の搬出入時などに周辺道路等を汚損、破損等した場合は速やかに対応すること。・騒音・振動の発生する作業は、できるだけ低騒音・低振動・低粉塵工法を採用すること。・その他、建物内や敷地周囲に影響があると思われる作業については、監督職員と協議すること。・構内実施中、または実施が決定した他工事との連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施を行うこと。・構内の行事等により作業が制限されることがあるので、監督職員と協議の上、工程を決定すること。・工事車両の通行は、交通整理員等を配置して安全対策を講じること。・道路の通行止めを行う際は、監督職員と協議のうえ、迂回路等を確保するなど対策を講じること。・排水等を止める際は、事前に監督職員と協議を行ない、承諾を受けること。 <p>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、以下の対策を講ずること。</p> <ul style="list-style-type: none">●マスクやフェイスシールドなどを着用すること。●三つの密（密集、密接、密閉）それぞれを回避すること。●対人間隔は、1m以上（可能な限り2m以上）確保すること。●朝礼等の時間短縮や内容の効率化を図ること。●工事現場入場時に体温測定を行うこと。●工事現場にアルコール等の消毒液を設置し、定期的に消毒を行うこと。

現場説明付記事項

- 1 工事施工上の注意事項
- 1) 車両通行経路は、図示の通りとし監督職員と協議の上、誘導員等を配置し、交通整理を行うこと。
工事車両は周辺道路上での違法駐車は行わないようにし、また路上に縦列待機させることも行わないこと。

2) また、工事関係車両は本学敷地外に駐車することを原則とし、構内の駐車エリア、道路及び空地への駐車は行わないこと。（搬入車両を除く。）

3) 学校行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。

4) 撤去工事その他で大きな音、振動等が生じる場合は、あらかじめ監督職員に日時を連絡し、承諾を得て工事を進めること。また、施工中の防音対策を十分に検討し行うこと。

5) 教職員、学生等の通行が頻繁なため、構内車両通行には徐行の徹底等、十分注意するよう指導を行うこと。

6) 埋蔵文化財を発見した時は、ただちに工事を中止し、監督職員の指示を受けること。

7) 工事場所内に火災予防のため適切な数量の消火器を設置するとともに、工事関係者に対し、火気等の取り扱いに十分注意するよう指導を行うこと。

8) 支障となる地中埋設物を発見した時は、監督職員と協議の上撤去し、適正処分すること。

9) 工事用地は、除草等常に良好な環境を保持すると共に工事完成時には現状に復帰して返還すること。

10) 同一構内の他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。

11) 作業時間は、午前8時から午後6時を原則とすること。

12) 構内における喫煙については、監督職員と協議のうえ、健康増進法（平成十四年法律第百三号）第二十九条に基づく受動喫煙対策を講ずること。
- 2 工事中の構内安全対策について
- 工事中の構内安全対策については、下記事項を十分留意した上、具体的な安全対策等を立案し、監督職員と協議の上、承諾を受けるものとする。

1) 監督職員と協議の上、構内要所に工事予告板、警戒標識板、交通規制標識板、工事表示板、案内板等を設置し、常に良好な状態に保つこと。

2) 掘削時等で危険な状態となる箇所には、安全柵、工事中表示板（点滅灯付）を、夜間は保安灯及び赤色回転灯を設置し、安全な状態を確保すること。

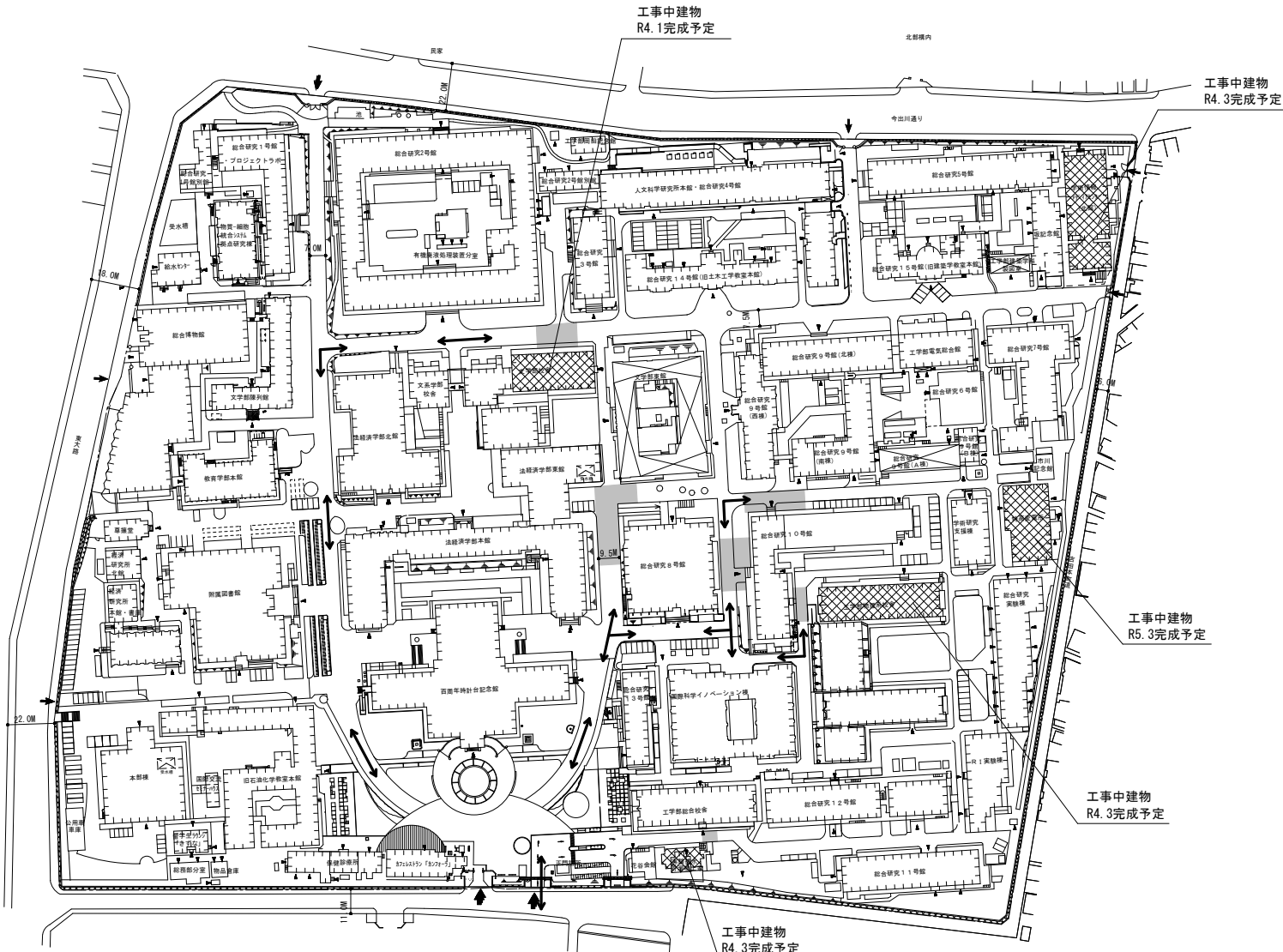
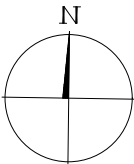
3) 構内通行の安全及び騒音防止のため工事用車両は徐行すること。

4) 大型車両の構内通行に際し、地中埋設物、マンホール等は必要に応じ養生を行うこと。

5) 大型車両による作業の場合は必要に応じて交通整理員を追加増員し、誘導・交通整理等により構内の安全確保に努めること。

6) 仮囲いの設置に伴い、構内通路の機能性が確保できない場合は、常夜灯及びコーナ一部に透明パネルを設置するなど安全確保に努めること。

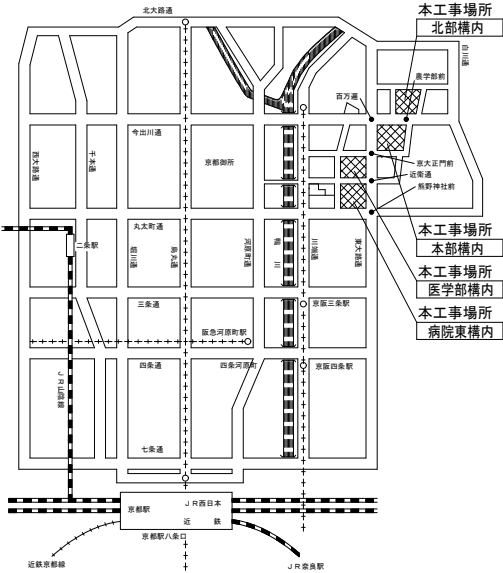
7) パネルゲートには電子音つき回転灯を設置するなど事故防止に努めること。



本部構内配置図 A1:1/1,500 A3:1/3,000

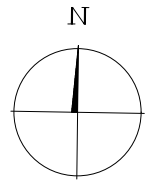
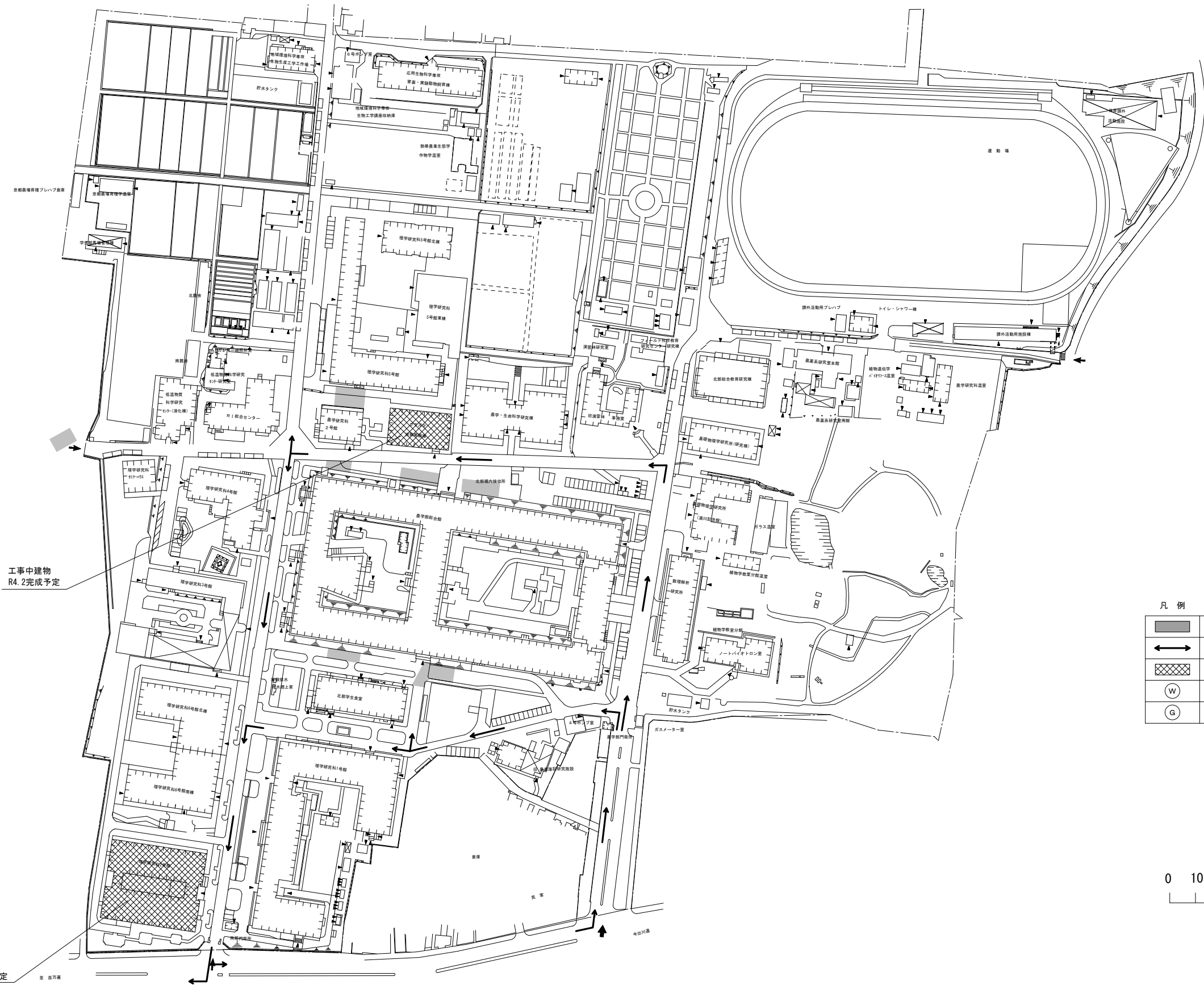
凡 例

	本工事範囲
	工事車両用進入経路
	別途工事場所・建物
	工事用水道分岐位置
	交通整理員位置（工事場所に常時2名）

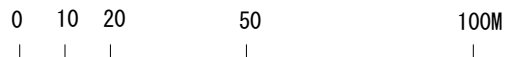


案 内 図

工事名 京都大学（中央他）キャンパス環境整備（屋外排水管等）工事			図面番号 1
図面名称 案内図・配置図 1	縮尺 A1: 1/1,500 A3: 1/3,000	設計日 令和3年11月	

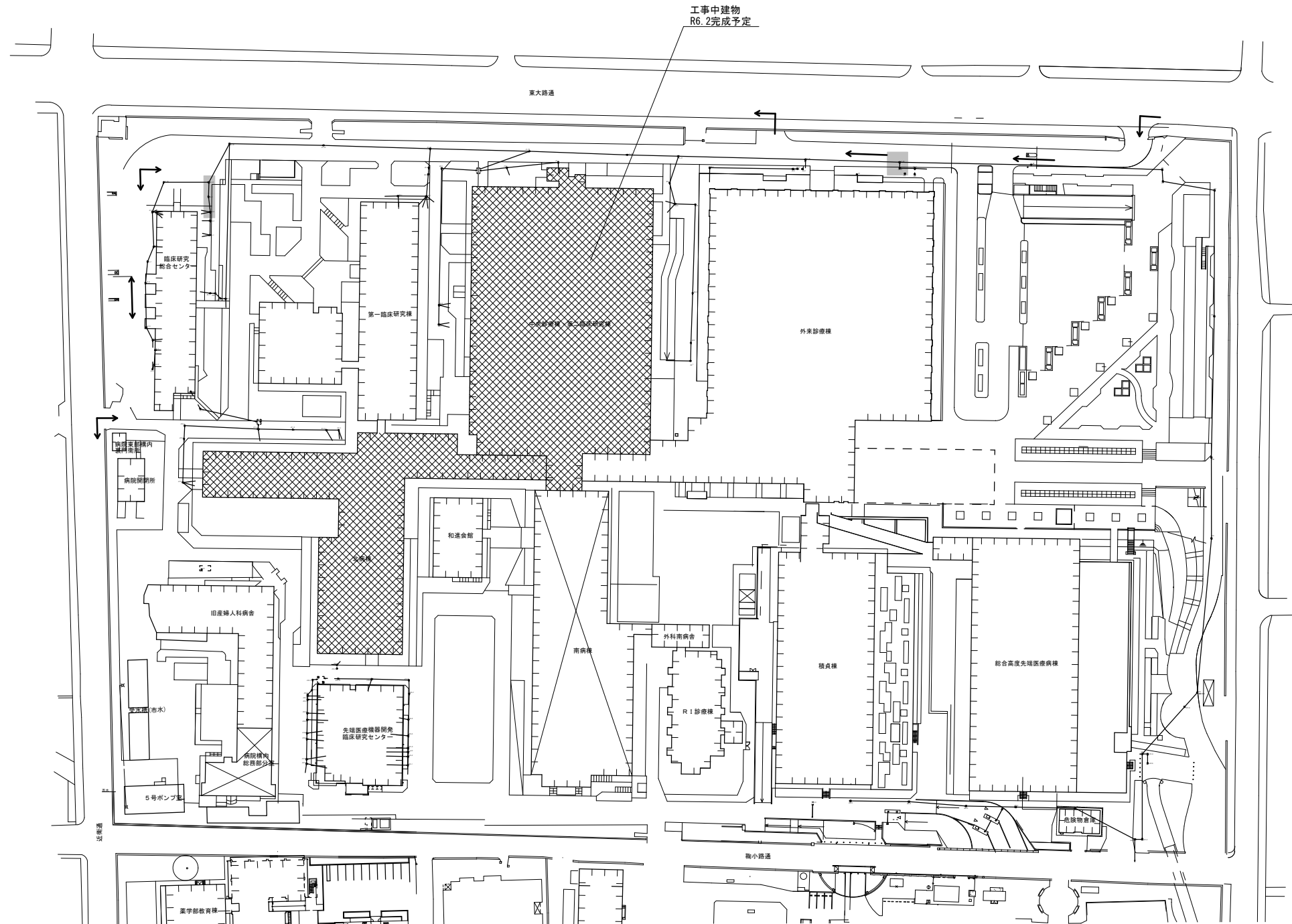
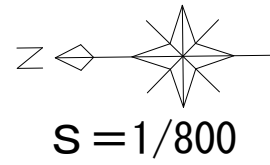


凡 例	
	本工事範囲
	工事車両用進入経路
	別途工事場所・建物
	工事用水道分岐位置
	交通整理員位置（工事場所に常時2名）



北部構内配置図 A1:1/1,500 A3:1/3,000

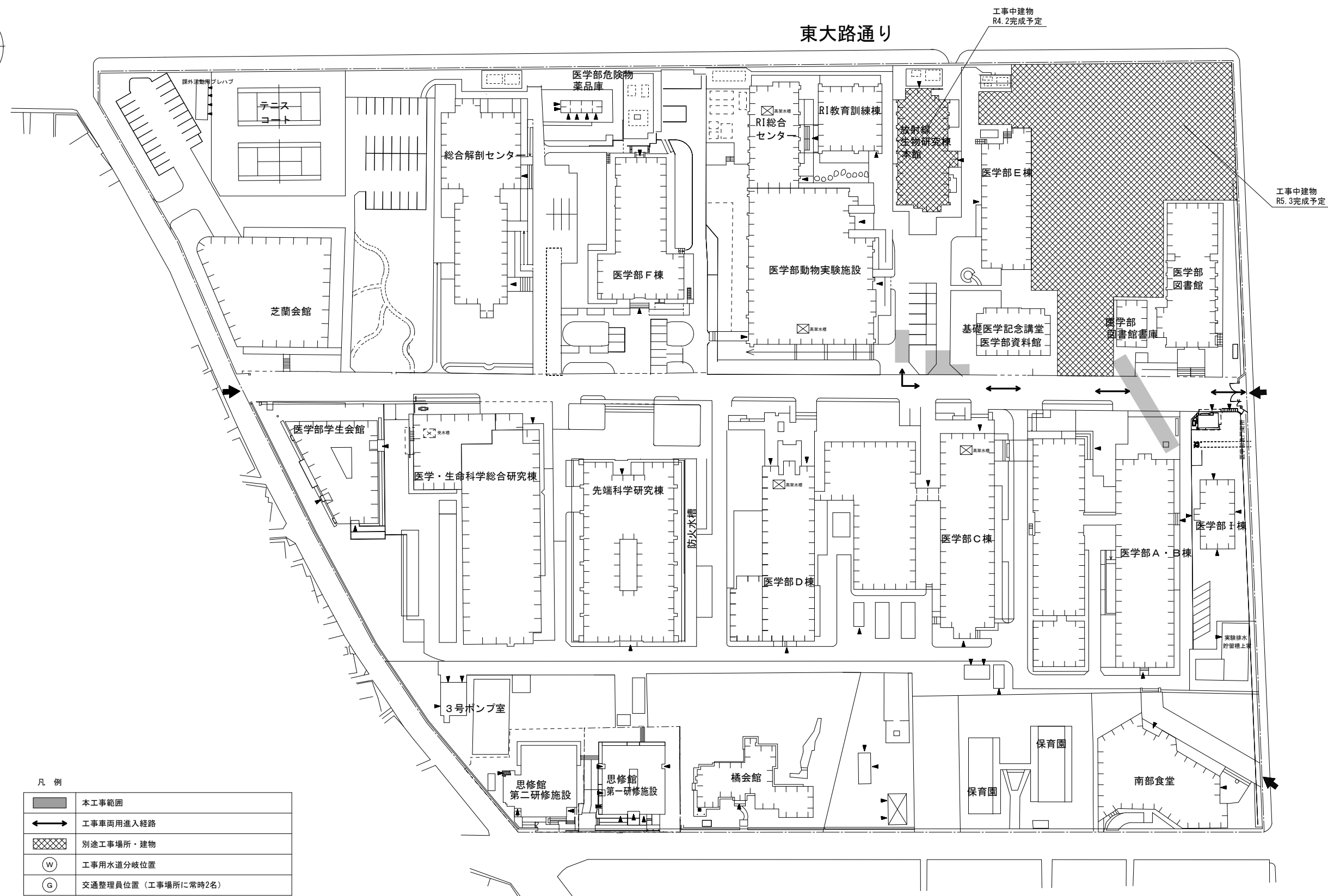
工事名 京都大学（中央他）キャンパス環境整備（屋外排水管等）工事			図面番号
図面名称 案内図・配置図2	縮尺 A1：1/1,500 A3：1/3,000	設計日 令和3年11月	2



凡 例	
	本工事範囲
	工事車両用進入経路
	別途工事場所・建物
	工事用水道分岐位置
	交通整理員位置（工事場所に常時2名）

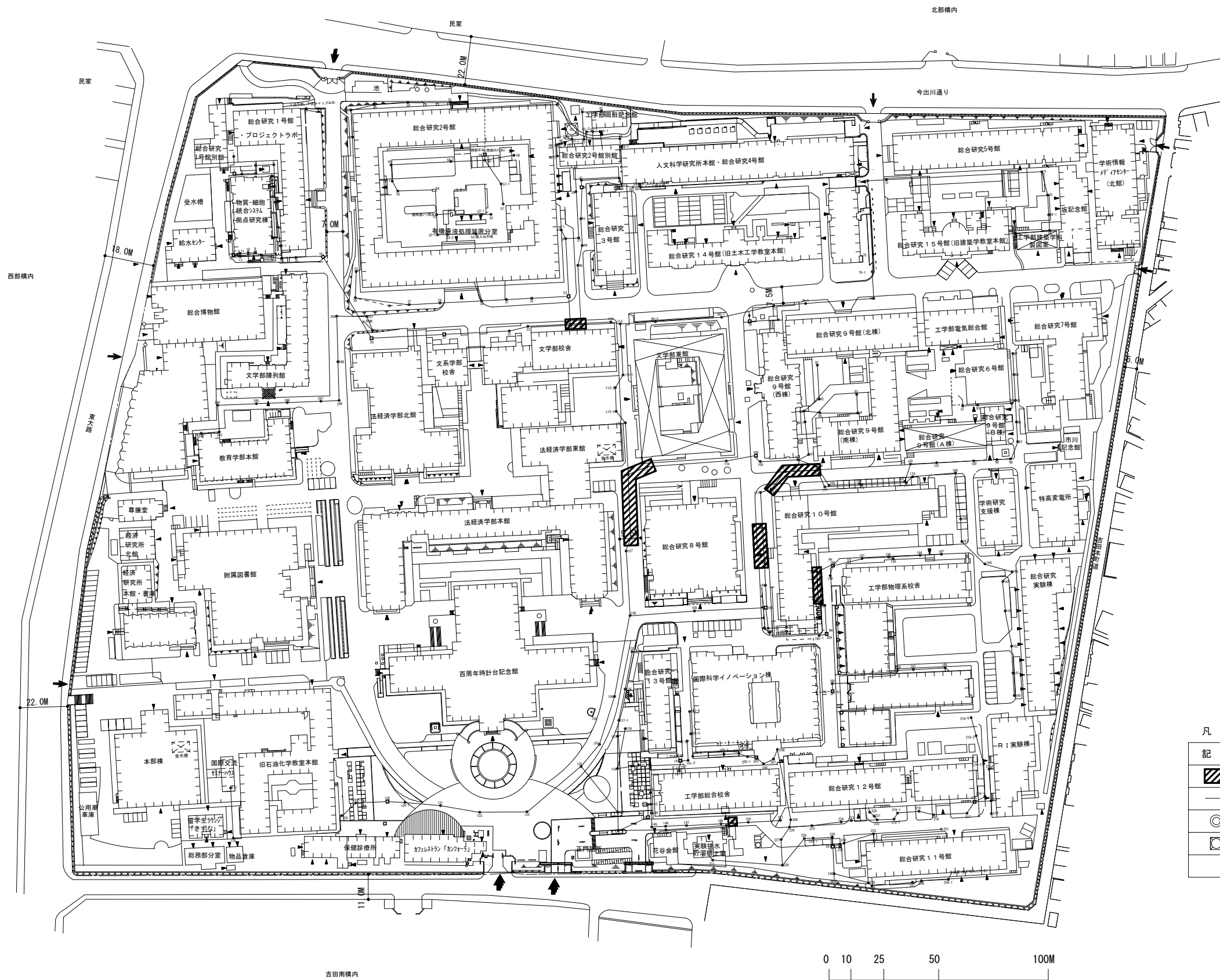
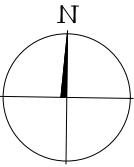
病院東構内配置図 A1:1/800 A3:1/1,600

工事名 京都大学（中央他）キャンパス環境整備（屋外排水管等）工事		図面番号	
図面名称 案内図・配置図3	縮尺 A1:1/800 A3:1/1,600	設計日 令和3年11月	
		3	



0 5 10 25 50 100M

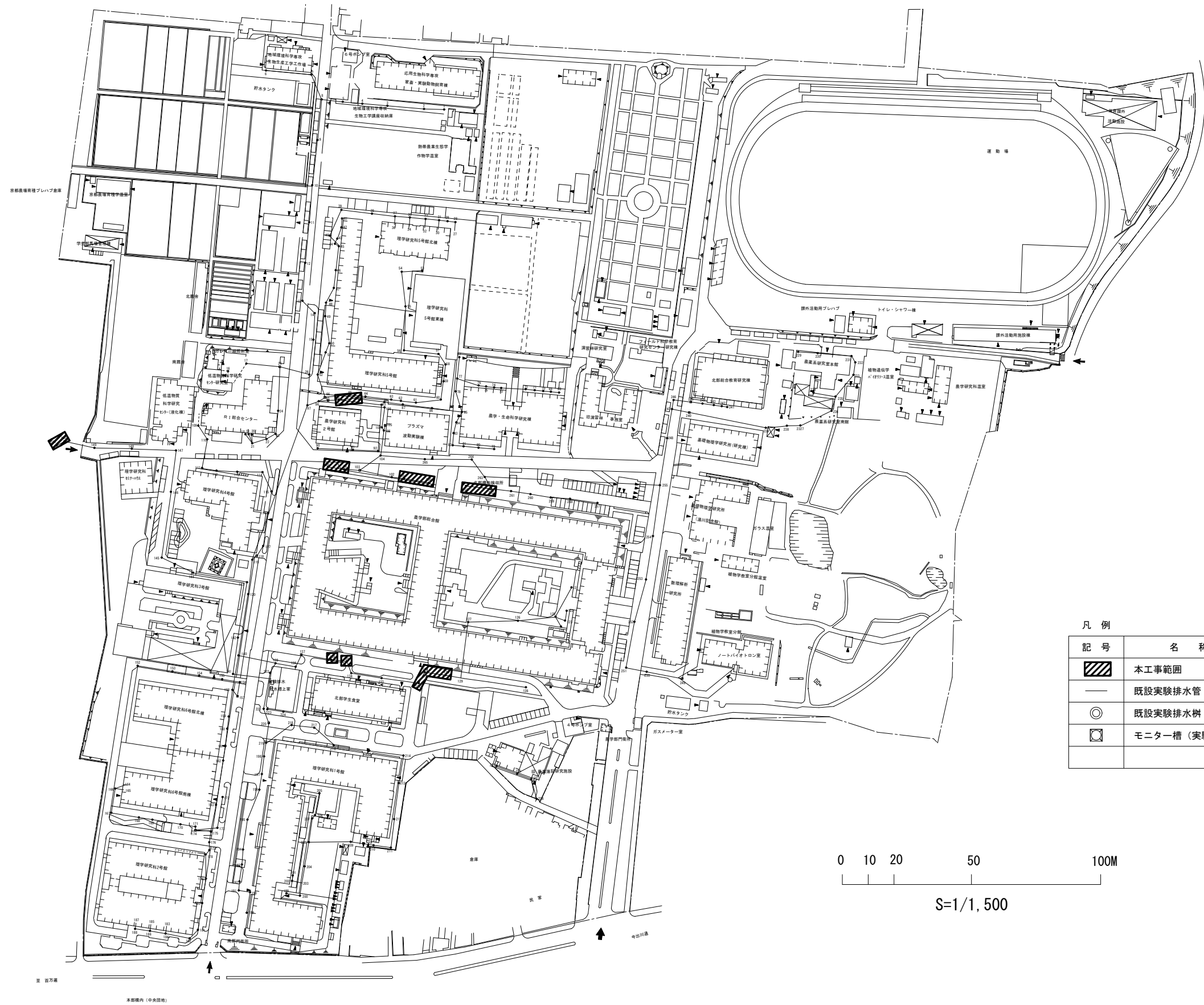
4



凡 例

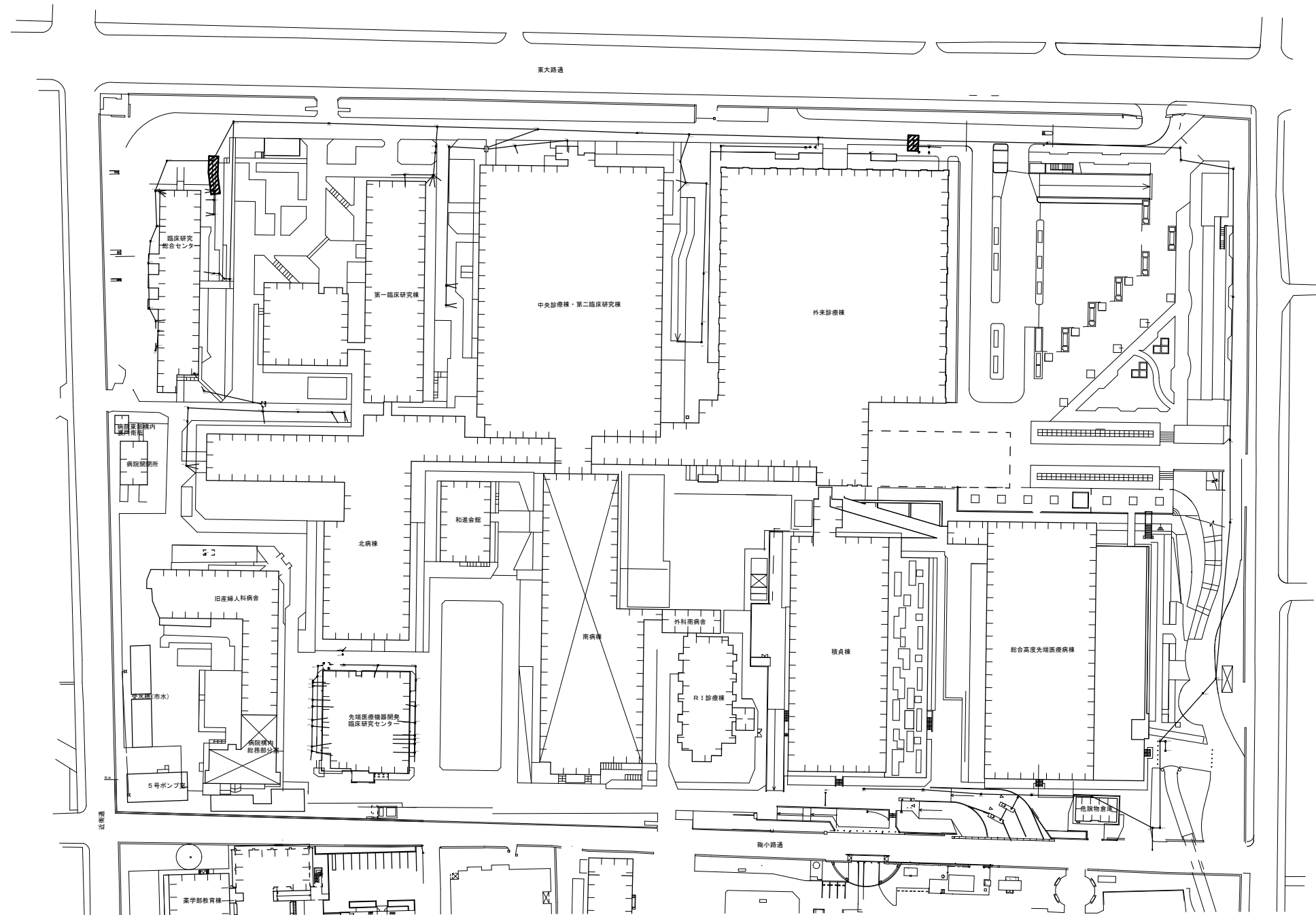
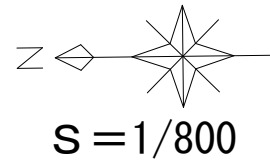
記 号	名 称	備 考
	本工事範囲	
	既設実験排水管	
	既設実験排水樹	
	モニター槽 (実験系)	

工事名 京都大学（中央他）キャンパス環境整備（屋外排水管等）工事			図面番号 5
図面名称 （本部構内）配置図	縮尺 A1：1/1,000 A3：1/2,000	設計日 令和3年11月	



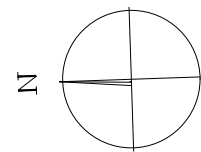
凡 例		
記 号	名 称	備 考
	本工事範囲	
	既設実験排水管	
	既設実験排水樹	
	モニター槽（実験系）	

工事名 京都大学（中央他）キャンパス環境整備（屋外排水管等）工事			図面番号 6
図面名称 （北部構内）配置図	縮尺 A1：1/1,500 A3：1/3,000	設計日 令和3年11月	

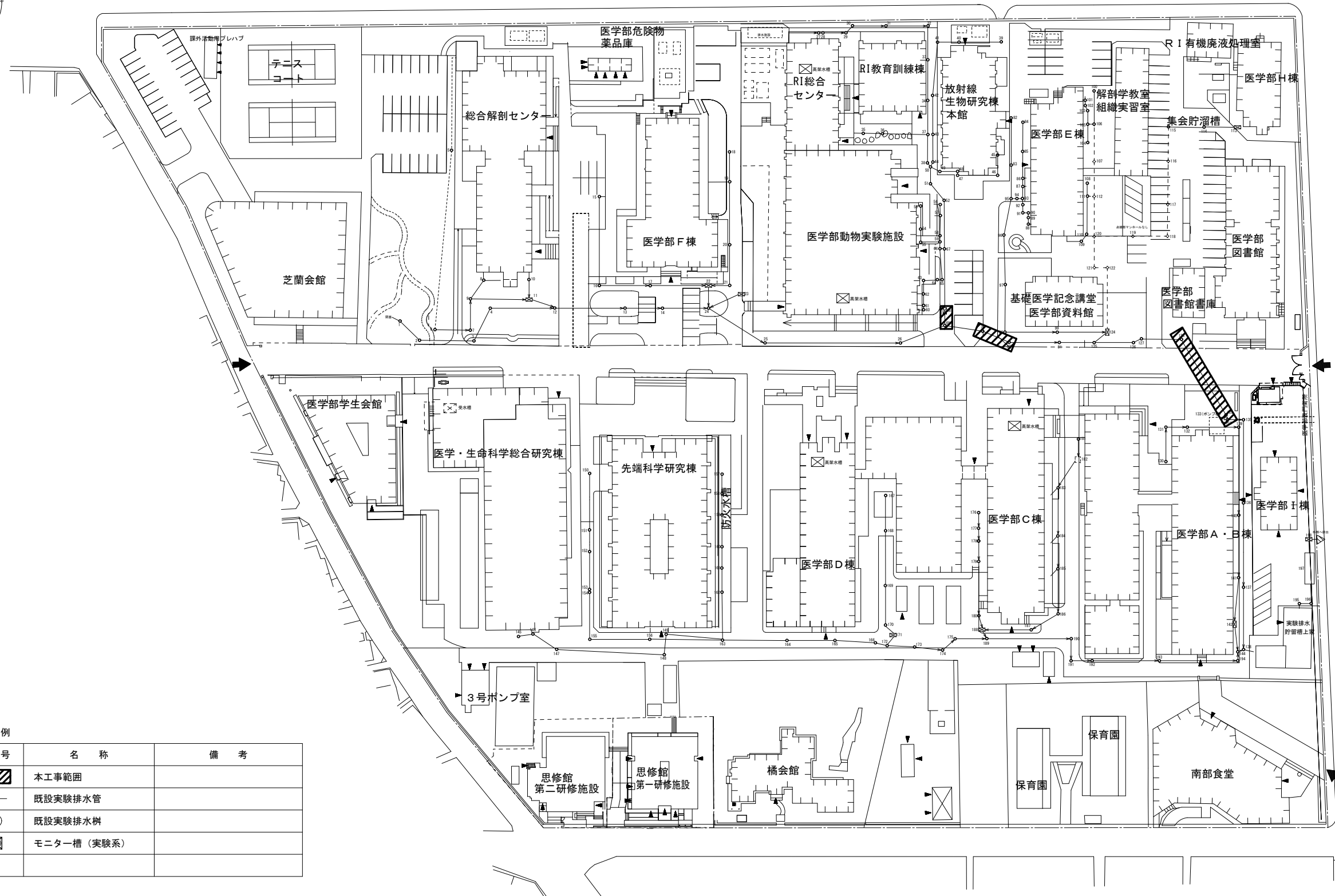


凡 例		
記 号	名 称	備 考
	本工事範囲	
	既設実験排水管	
	既設実験排水樹	
	モニター槽（実験系）	

工事名 京都大学（中央他）キャンパス環境整備（屋外排水管等）工事		図面番号	
図面名称 （病院東構内）配置図	縮尺 A1：1/800 A3：1/1,600	設計日 令和3年11月	7



東大路通り



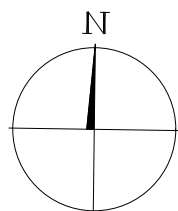
凡 例

記 号	名 称	備 考
	本工事範囲	
	既設実験排水管	
	既設実験排水井	
	モニター槽 (実験系)	

0 5 10 25 50 100M

S=1/600

工事名 京都大学 (中央他) キャンパス環境整備 (屋外排水管等) 工事			図面番号 8
図面名称 (医学部構内) 配置図	縮尺 A1 : 1/600 A3 : 1/1,200	設計日 令和3年11月	











S=1/500

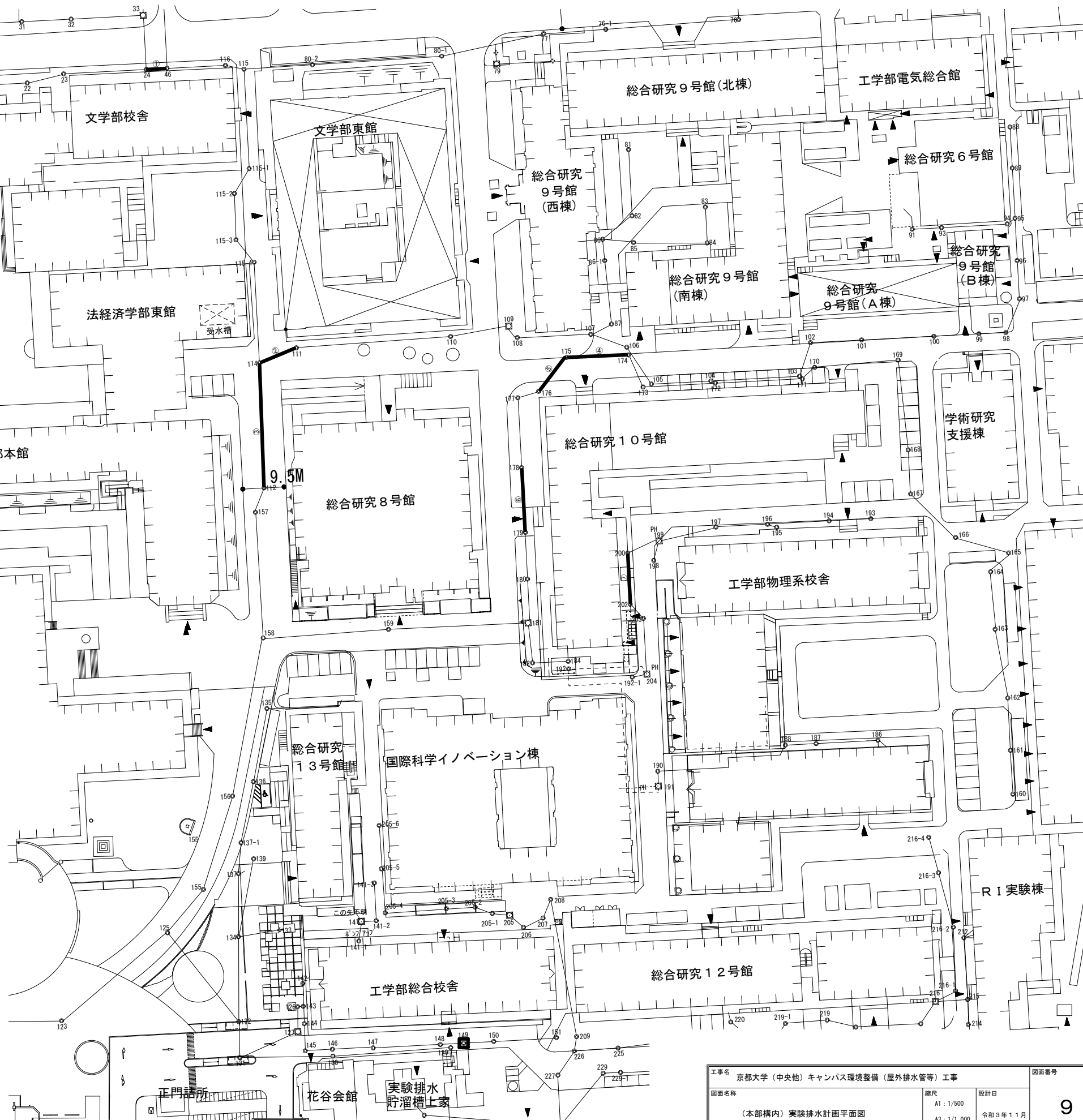
改修リスト

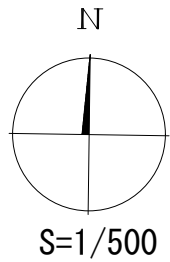
番号	樹サイズ	備 考
24	1号×H4, 400	
46	1号×H4, 450	
111	1号×H2, 800	
112	1号×H2, 700	
114	1号×H2, 960	
149	□450×H1, 200	改修実験排水樹
174	1号×H2, 590	
175	1号×H2, 480	
176	1号×H2, 450	
178	1号×H2, 760	
179	1号×H2, 700	
200	1号×H1, 640	
202	1号×H1, 720	

記号	番号	管種	呼び径 (mm)	管体延長 (m)	管底高 (mm)	備 考
①	24～46	HP	350	7. 20	4400～4450	管更生工法
②	111～114	HP	300	12. 94	2800～2550	管更生工法
③	112～114	HP	350	29. 05	2700～2960	管更生工法
④	174～175	HP	150	12. 60	2590～2470	管更生工法
⑤	175～176	HP	150	10. 50	2480～2450	管更生工法
⑥	178～179	HP	150	17. 60	2760～2700	管更生工法
⑦	200～202	HP	150	10. 63	1640～1720	管更生工法

※管底高を参考に勾配を算出し、土被り等を検討すること。
また、工事着手前に土被り等の現場実測を行い、工事計画を行うこと。

凡例		
記号	種別・名称	備 考
	管更生工法	カメラ調査、管内清掃含む
	改修実験排水管（開削工）	撤去・新設
	既設管（本工事範囲外）	
	人孔更生工法	カメラ調査、人孔内清掃含む
	改修実験排水樹	撤去・新設（蓋含む）
	改修実験排水樹	管口周りモルタル補修 1箇所
	既設実験排水樹（本工事範囲外）	但し、管更生工端部の管口仕上は本工事に含む
	実験系モニター槽（本工事範囲外）	但し、管更生工端部の管口仕上は本工事に含む





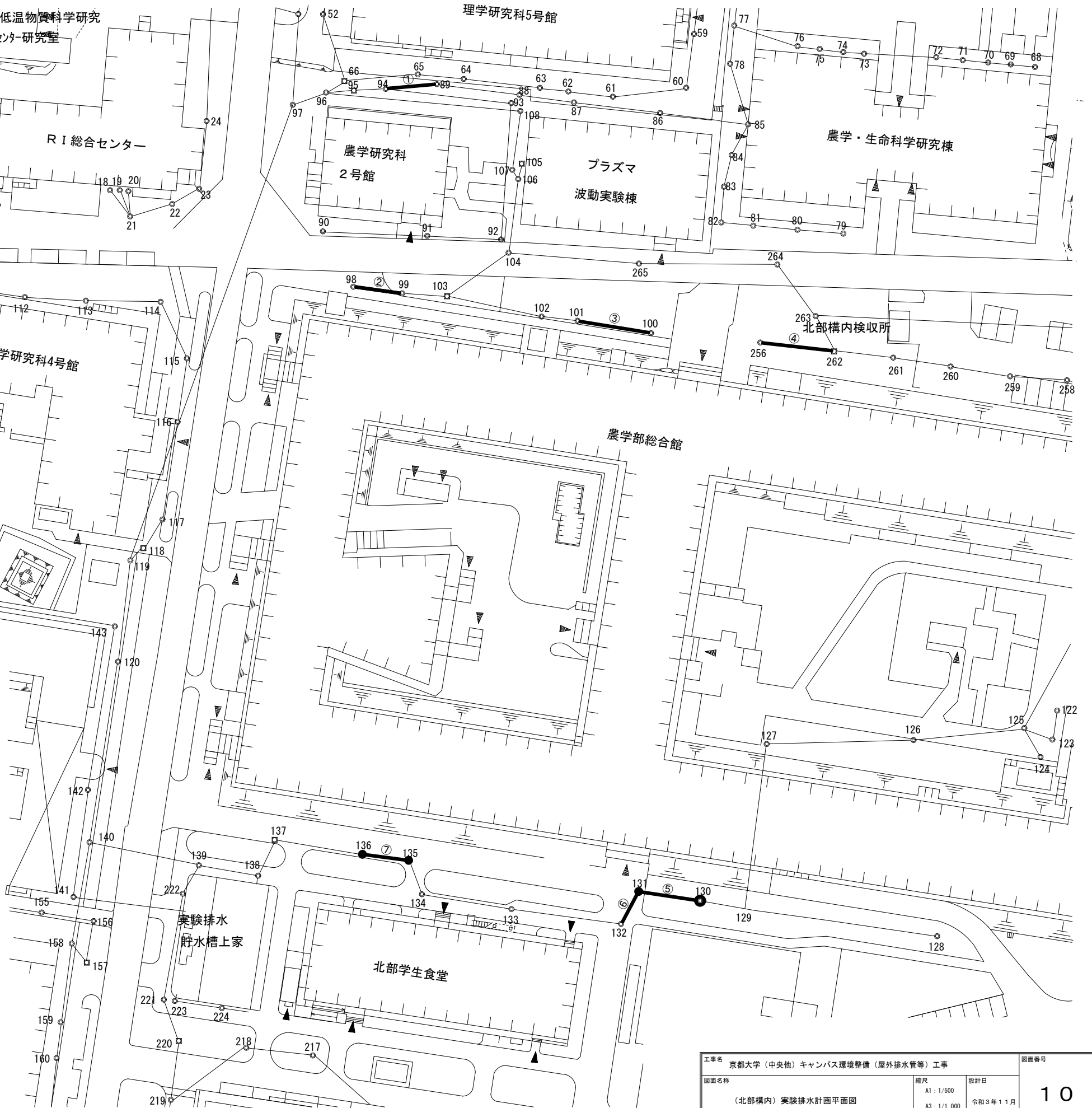
改修リスト

番号	樹サイズ	備 考
89	1号×H2,000	
94	1号×H1,900	
98	1号×H1,340	
99	1号×H1,780	
100	1号×H1,460	
101	1号×H1,210	
130	1号×H1,700	改修実験排水樹
131	1号×H1,500	人孔更生工法
132	1号×H1,550	
135	1号×H2,360	人孔更生工法
136	1号×H2,340	人孔更生工法
150	1号×H860	
151	1号×H810	
256	1号×H1,930	
262	3号×H1,710	

記号	番号	管種	呼び径 (mm)	管体延長 (m)	管底高 (mm)	備 考
①	89～94	HP	150	3.47	2000～1900	管更生工法
②	98～99	HP	150	10.05	1340～1780	管更生工法
③	100～101	HP	150	13.05	1460～1210	管更生工法
④	256～262	HP	150	13.15	1930～1710	管更生工法
⑤	130～131	HP	150	12.57	1490～1300	管更生工法
⑥	131～132	HP	150	6.75	1500～1550	管更生工法
⑦	135～136	HP	150	8.60	2360～2340	管更生工法
⑧	150～151	HP	350	2.80	860～810	管更生工法

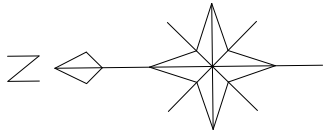
※管底高を参考に勾配を算出し、土被り等を検討すること。
また、工事着手前に土被り等の現場実測を行い、工事計画を行うこと。

凡例		
記号	種別・名称	備 考
	管更生工法	カメラ調査、管内清掃含む
	改修実験排水管（開削工）	撤去・新設
	既設管（本工事範囲外）	
	人孔更生工法	カメラ調査、人孔内清掃含む 3箇所
	改修実験排水樹	撤去・新設（蓋含む） 1箇所
	改修実験排水樹	管口周りモルタル補修
	既設実験排水樹（本工事範囲外）	但し、管更生工端部の管口仕上げは本工事に含む
	実験系モニター槽（本工事範囲外）	但し、管更生工端部の管口仕上げは本工事に含む

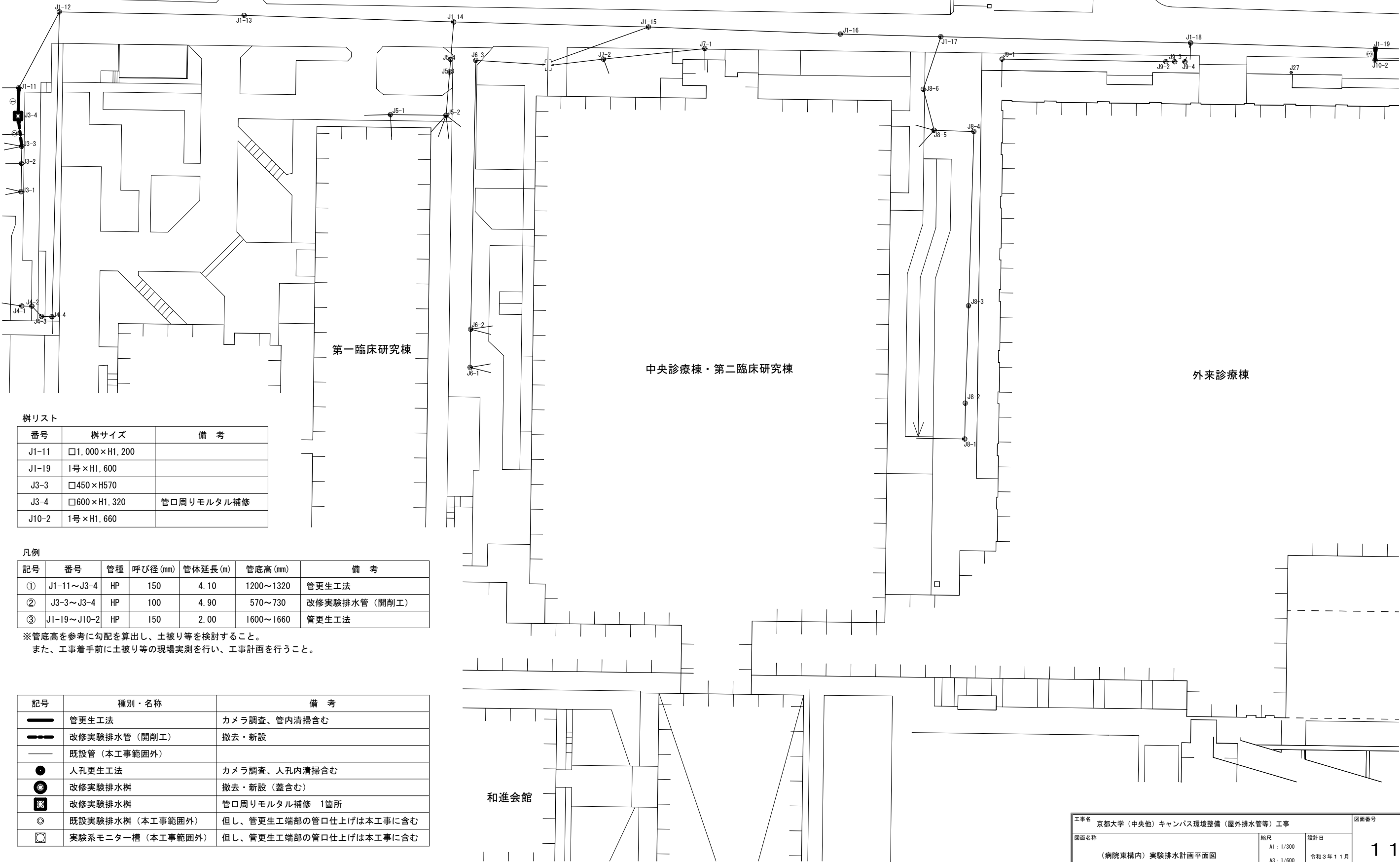


工事名	京都大学（中央他）キャンパス環境整備（屋外排水管等）工事		図面番号
図面名称	（北部構内）実験排水計画平面図	縮尺 A1：1/500 A3：1/1,000	設計日 令和3年11月
			10

東大路通



S = 1/300



樹リスト

番号	樹サイズ	備 考
J1-11	□1,000×H1,200	
J1-19	1号×H1,600	
J3-3	□450×H570	
J3-4	□600×H1,320	管口周りモルタル補修
J10-2	1号×H1,660	

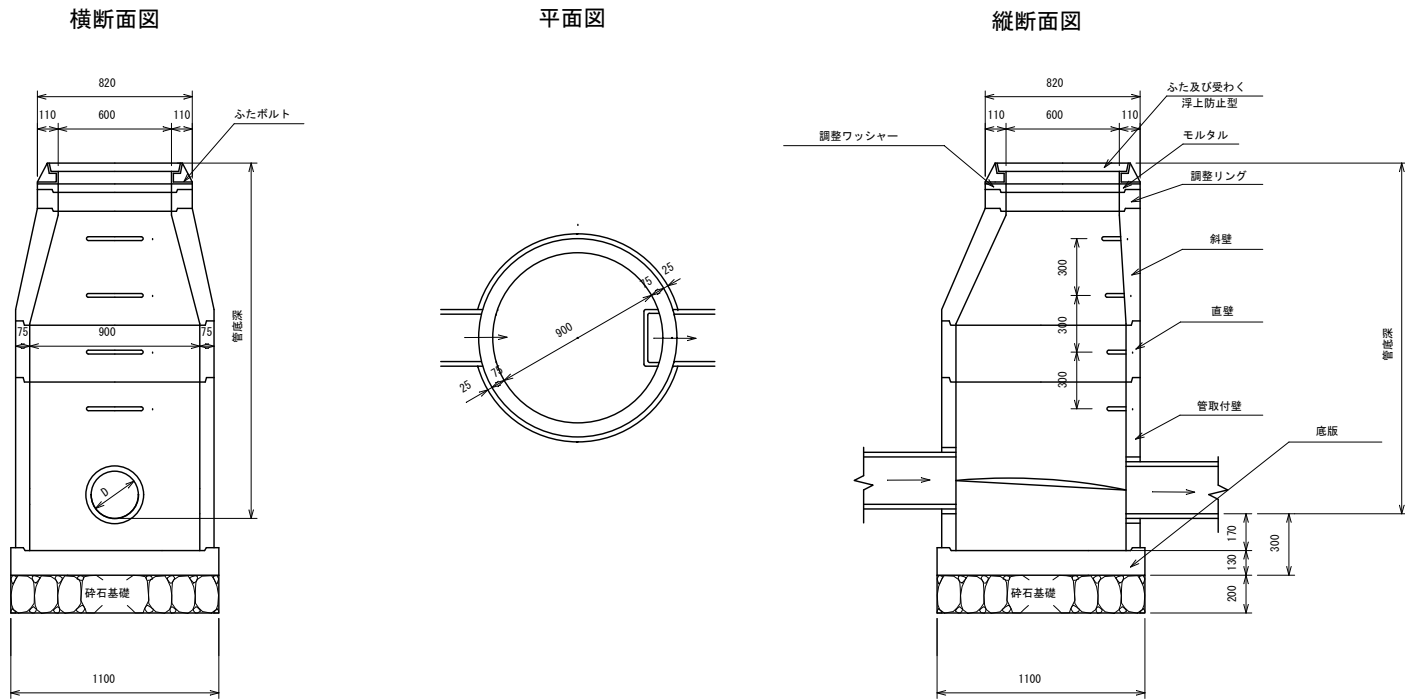
凡例

記号	番号	管種	呼び径 (mm)	管体延長 (m)	管底高 (mm)	備 考
①	J1-11～J3-4	HP	150	4.10	1200～1320	管更生工法
②	J3-3～J3-4	HP	100	4.90	570～730	改修実験排水管（開削工）
③	J1-19～J10-2	HP	150	2.00	1600～1660	管更生工法

※管底高を参考に勾配を算出し、土被り等を検討すること。
また、工事着手前に土被り等の現場実測を行い、工事計画を行うこと。

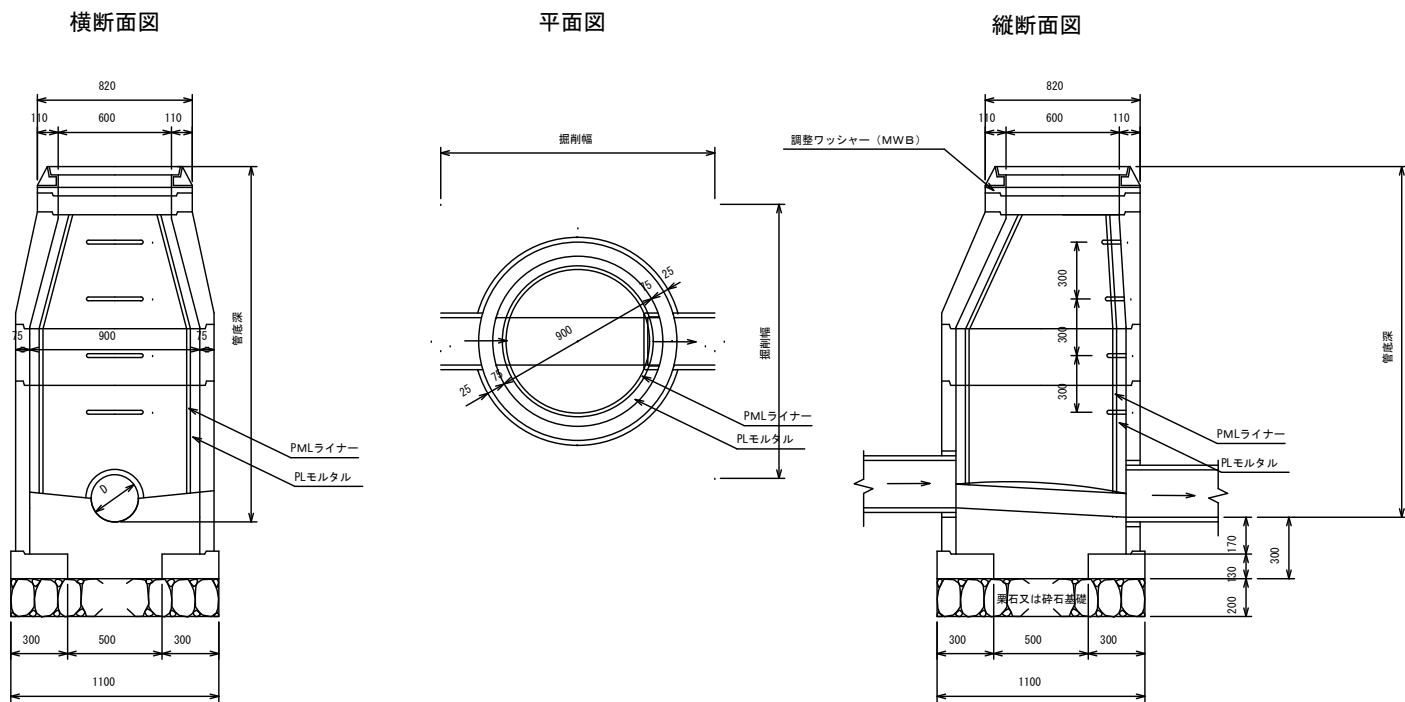
記号	種別・名称	備 考
—	管更生工法	カメラ調査、管内清掃含む
- - -	改修実験排水管（開削工）	撤去・新設
—	既設管（本工事範囲外）	
●	人孔更生工法	カメラ調査、人孔内清掃含む
⊙	改修実験排水樹	撤去・新設（蓋含む）
⊗	改修実験排水樹	管口周りモルタル補修 1箇所
◎	既設実験排水樹（本工事範囲外）	但し、管更生工端部の管口仕上げは本工事に含む
⊠	実験系モニター槽（本工事範囲外）	但し、管更生工端部の管口仕上げは本工事に含む

1号組立マンホール 構造標準図 S=1:20



*蓋には、「実験」の表記をする。
*非舗装部における蓋は、周囲100程度をコンクリートで防護する。

人孔更生工参考図 S=1:20



※前処理として、堆積物や木の根などの除去を行うこと。

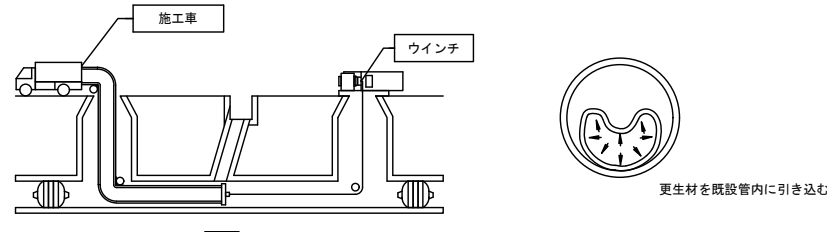
管更生工参考図

形成工法

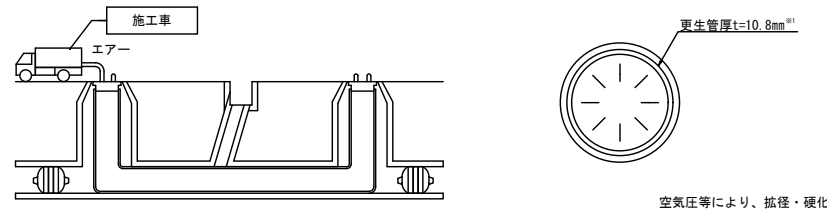
※直径600の樹から施工可能な工法とすること。

本管ライニング

①引き込み工程



②管拡張／硬化工程



※1 更生管厚は参考値であり、自立管としての必要管厚とする。
※前処理として、堆積物や木の根などの除去を行うこと。

工事名	京都大学（中央他）キャンパス環境整備（屋外排水管等）工事		図面番号
図面名称	新設樹構造図・更生工参考図	縮尺 A1：1/20 A3：1/40	設計日 令和3年11月
			13